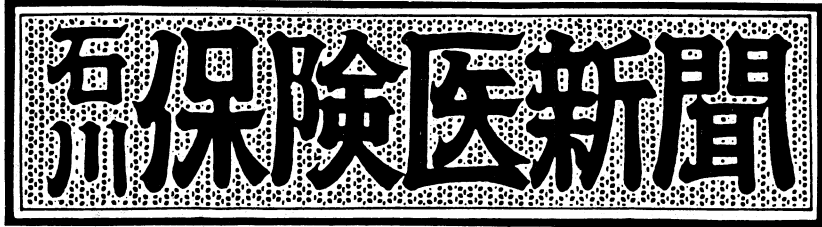


〔主な記事〕

- 2頁 「AIDS」講演要旨
- 3頁 各学会報告
- 4頁 ブロック医療研究集会
- 5頁 従業員講習会
- 8頁 政岡先生にインタビュー



発行所  
 石川県保険医協会  
 金沢市尾張町1丁目9番11号  
 尾張町レジデンス2F (〒920)  
 電話 (0762) 22-5373番  
 発行人 後藤 博之  
 印刷所 ユーアイ印刷  
 (会費月額 3,800円)

# グループ保険一〇〇億達成 掛金さらに割安に

四、五月の休業保障第十二次募集がこれまで最高の成績になったのに続き、五、六月のグループ保険第七次募集も多数の加入者があり、当初目標の一〇〇億円を大きく突破しました。

## ますます充実 協会の共済制度

昨年から加入人口限度が八口に拡大された休業保障では最高の加入率となり、募集は、今年度は新規加入に重点をおいた結果、新規六十三人・三七六口、増口十人・三十二口、合計七十三人・四〇八口となり、過去最高の成績となりました。累計では三四〇人・一八五一口、会員の加入率は六二・二%になり、三大共済制度(休業保障、グループ保険、保険医年金)の中

者五十二人の合計保険金二十七億円の加入があり、累計では会員三一六人、配偶者一七六人で保険金は一四億三、五〇〇万円となりました。会員の加入率は五七・二%と、これまで最高に達しています。

### 信頼高まり 好成績に

このように休業保障、グループ保険と相次いで好成績となった要因は、第一に、昨年度募集以降、五十人余の会員増加があり、序盤から成績をあげることができ、募集活動に弾みがついたこと。

### ●保険医年金

### 今年度配当

# 9.13% に 決定!!

今年度の募集は 9月~10月

## 持論

厚生省の「国民医療対策本部は二十一日、医療費抑制のための中間報告をまとめた。同報告は本格的高齢化社会の到来に向けての老人医療費の抑制に重点を置いた改革案で、具体的には

## あまりにも財政中心 医療費抑制策

①病院ごとに設置を義務付ける入院判定委員会による長期入院の是正。  
 ②医療費の高い大病院などでの診療報酬の見直し。  
 ③一定の研修や講習を受けた者のみを保険医とする登録制度の見直し。  
 ④老人医療のガイドラインを策定し、ターミナルケアの在り方を考え直す。

し外部委託を活用する。などが盛り込まれている。報告では国民医療の今後の方角として質の良い医療サービスを効率的に供給していくシステムづくりを基本に、「自らの健康は自分で守る」というセル

家庭の事情や老人ホームに入れない所謂「社会的入院」の問題。質の良い医療というが、検査や投薬を低く抑えるガイドラインの作成。はては家族の感情を無視したターミナル・ケアの問題など、あまりにも財政面にとら

### 加入者 順調に 増える

このように協会の共済制度は、会員はもとより会員外にも評判を呼んでおり、協会の発展と共に加入者も順調に増えています。九、十月には、この三大共済の柱となる保険医年金の募集を行います。これまで十年間で年利八・六〜九・一%の高配当を維持しており、しかも本年度は九・一三という高配当が予想されており、募集前からすでに協会に問合せが寄せられるなど、大幅な加入・増口が期待されています。

### 医心凡話

久しぶりで家でくつろいでいたら健康発行の機関紙「すこやか健康六月号」がフット目に止まった。

普段あまり見たことがない。以前の記憶では相当下ギツイ記事が多いという印象は持っていた。第一面は「老人の特性に合う診療費制度」という見出しで、老人は受診率・医療費が一般人に比べて格段に違うというデータと解説には得心がいったが次に「手間ひまかける程診療費が増える」として「出来高払い」は早急に改めろ」という記事にはあ然！しかし二面になるともっとビックリするような記事が出ていた！

大見出し「算術医にねらわれる老人医療」、「目にあまる診療費請求」と縦と横に字が並び、その中味のすさまじさに目の玉が飛び出しそうになった。

曰く「医師の保険診療請求書をあたってみると信じられないほど不正、不当な中味を目にする」と、まるでほとんどの医師が不正請求しているかのようだ。

「そこには患者が死ぬ直前まで利益を生み出そうとする悪徳医……」とあり「ふつうの金銭取り引きだったら請求者は取り引き停止詐欺で告発されるはずで」と保険医を詐欺あつかい。「それもこれも原因は出来高払い方式にある」と本音がまたも顔をだし、一日いくらのマルメ方式が結論とはいやはや……。

公開講演会

駒込病院の研究成果を学ぶ  
“AIDS”に91人参加

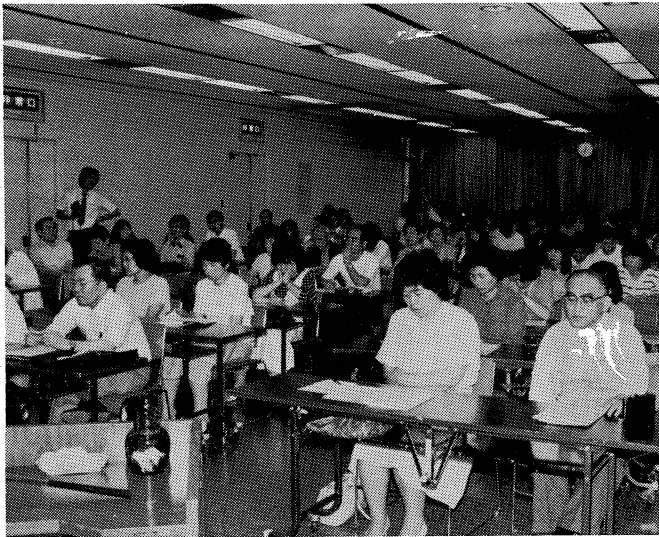


東京都立駒込病院感染症科医長  
八森啓先生

貴重な臨床経験をスライドを使って…  
講師の八森啓先生

六月七日、午前十時から、石川県教育会館二階会議室で「AIDS」の講演会が行われました。講師は東京都立駒込病院感染症科医長の八森啓先生。医師、看護婦、保健婦さんなど九十一名が参加し、全国で始めてエイズ外来を開いた駒込病院での研究成果を学びました。県内でエイズ患者が発生した場合の受け入れ体制は、今後重要になるものと見られ、公立病院のエイズ対策委員を兼務される先生の参加もありました。ここに講演要旨を掲載します。

六月七日、石川県教育会館の大会議室に九十一名が参加して、非常に真剣な雰囲気の中で、八森啓先生がAIDSの講演をされた。駒込病院は、昭和六十年十月に日本で最初にAIDS専門外来を設けた病院であり、八森先生は実際にAIDS患者の診療に従事されている方である。既にAIDSに関しては新聞・雑誌・テレビなどが頻りに取り上げ、報道されており、本も多数刊行されてきている。八森先生も講演の中でAIDSの由来、症状、診断、治療に関して一通り話をされたが、ここでは実際にAIDS患者の診療にたずさわられての貴重な臨床経験を中心にまとめた。



医師・歯科医師・従業員・保健婦など91人が参加。  
6月7日 石川県教育会館

的確な診断には  
何例かの経験が必要

駒込病院が最初に経験したAIDS症例は、四〇歳の男性で、入院後二週間で死亡している。カリニ肺炎を疑って治療したが、カリニ肺炎の確定診断がついたのは死亡する二日前であり、AIDS抗体を証明しえたのは死亡後一週間してからであった。

第二例はホモの外国人で、入院当初からAIDSを疑って対応したが、院内は大

治療を受けやすい  
社会環境に

混乱となった。看護体制、検査体制が整うのに多少の時間を要した。その後、症例を重ねて現在では、AIDS患者の症状の予測がつかず、ほとんど告知されていない状況である。われわれが初めてAIDSであることを告知した患者の場合、患者と妻が強く告知を求め、精神的にも二人が安定していると思われるが判断したため告知に踏み切ったものである。幸い患者は死ぬ直前まで意識がはっきりしており、精神的にも大きな動揺を見せずに静かに息を引きとった。

AIDSであることを患者に告知するか、しないか大きな問題である。日本

の場合、血友病患者でAIDSになった例が多いが、AIDS抗体が陽性であった

この症例でも経験されたことであるが、AIDS患者の治療中に、しばしば薬

剤アレルギーが出現する。免疫力が低下していることと相反するような現象である。

脳神経症状を呈する症例を経験するようになり、日本でも注目しなければならぬ状況になってきている。治療面で困るのは、駒込病院からAIDS抗体陽性患者に連絡できないということである。マスコミで騒がれている時には来なくなってしまうほど、患者は敏感に反応する。プライバシー保護の面からも、病院か

(文責 西村邦雄)

メディカル・セミナー

一人法人の  
手続きについて

解答者 木村光雄 税理士

三月号より、売上税編として解説してきましたが、国会の動向などをみましても現在、売上税については特に目新しい動きもありませんので、今月号につきましては、売上税関係を一時的に、私共、木村経営ブレインに対して、先生方からいろいろご質問を受ける中で、最近その数が増えてまいりました、医療法人への組織変更につき、実務面からお答えしたいと思しますので、その旨、ご了解のほどお願いいたします。

(問) 現在、個人の病院

ですが、医療法人化への具体的手続きについて留意すべき点を教えてください。

(答) まず、昨年十月よりの医療法の改正により可能となった一人医療法人化ではなく、二十床以上の個人病院を法人化するという例にて解説をしていきます。

この場合、最も留意すべき点は、資産基準であります。資産基準とは、より継続的に総資産の二十%を確保し続けなければならないということになります。総資産とは、自院の貸借対照表の資産の合計額、つまり、現預金、棚

面を立てると、五月末もしくは六月末の個人の試算表を基に、いくらを計算して見ることです。例えば、保険未収入金(レセプトの二カ月分)や未払金は、通常、法人へは移行せず個人に残すようにします。また、固定資産についても原則とし

て、土地・建物は法人へ移行するのが望ましいとされていますが、十年以上の賃貸借契約でもかまわないとされていますので、自院の都合もよく検討して、総資産の合計額をまず明確にして、それから移行する負債(おむね借入金)を差し引いた残りが資本金となるのです。この資本金は、大きくとらえると前述のように決定されるわけですが、これから先たいへん細かな条件をいくつもクリアしていかなければなりません。今回は紙面の都合で全て解説することはできませんでしたが、機会があれば、また説明したいと考えております。尚、医療法人化についてのお問合せは、ご遠慮なくお申し出下さい。電話でのご相談は無料にて行っております。

◆問合せは(〇七六二) 九一三三三五(代)

# 1987年度 新体制の各部会 次々に開かれる

## 総務・財政部

## 医療・福祉の 向上に全力

六月に  
入って、各部会が次々に開かれていきます。これは五月十六日に  
行われた第十三回定期総会で決定した一九八七  
年度の活動方針の具体化が主な議題となるものです。  
各部それぞれに活動方針を持っていますが、これらはす  
べて保険医協会の基本姿勢に基づいたものでなければなら  
ず、各部が歩調を合わせ、保険医協会ならではの活動方  
針が、次々に具体化されています。ここに総務・財  
政部、地域医療対策部、学術・保険部から、そ  
れぞれ今年の抱負とも言うべき部会報  
告が届いているので掲載  
します。

従来、各部の自主独立活  
動を最大限尊重してきた協  
会にとって、総務部は、い  
わばどの部にも属しないは

まず総務部から、医科  
会員四二二名、歯科会員  
一三四名と特に歯科会員  
の増加が目立つことが報  
告された。私が入会した  
頃には比べ大変喜ばしいこ  
とと思う。

会員懇談会が輪島、珠  
洲、小松、加賀地区で計  
画されているが、各地で  
開催され、会員間の親睦  
に役立てば幸と思う。

歯科部は、各種講演会  
の企画など大変積極的か  
つ意欲的で、小林先生の  
ショックの救急、および  
八森先生のエイズなど、  
われわれ医科にとっても  
非常に参考になる。この  
ように歯科部会主催であ  
っても医科にとって有用

## 理事会点描

## 討論、討論で 活発な理事会

6月16日

のシリーズや慢性疾患マ  
ニユアル第二弾の製作、  
県下八会場でのスタッフ  
講習会、糖尿病および高

な討論の中で、活路を見  
出せば幸と思う。(甲)

活動方針を具体化する  
ために、協会の基本的姿  
勢を守りながら、より大  
きく発展するために、時  
間を大幅に延長しての話  
合いであった。

今後、理事各位の充分  
な討論の中で、活路を見  
出せば幸と思う。(甲)

なテーマがかなり多いと  
思われる。  
医科の方でも学術・保  
険部が超音波断層検査法

血圧症懇話会など多彩な  
活動を実施または計画し  
ている。能登部長は医家  
向けの講習会へ、より多  
くの医家の積極的参加を  
提起され、さらに協会会  
員相互のより緊密な信頼  
関係や活動参加率の向上  
を高めながら、住民団体  
との交流を深めることの  
重要性についても述べら  
れた。

一方、各部の活動がこれ  
ほど活発になってくると、  
医科・歯科共同体である協  
会全体としての流れを調整  
する役を総務部が負うこと  
になる。

また、最近では事務局の仕  
事も多岐多様となり、活動  
の充実には比例して仕事量も  
かなり増えている。事務局  
員一人ひとりの能力をさら  
に高めるとともに、事務所  
の拡張と増員を含めた事務  
局整備の必要性も叫ばれ始  
めている。協会役員との円  
滑な連携を重視するがゆえ  
に、今後の重要課題の一つ  
とした。

さらに二年前から組織部  
も総務部の中に置いた。今  
年度は各地での会員懇談会  
を企画している。

医科・歯科合わせて五  
〇名を超える協会活動がい  
よいよ活発になり、開業保  
険医の集団が経営の安定を  
図りつつ国民の医療・福祉  
の向上に役立つよう、全力  
を挙げたいと考えている。  
(高松弘明)

## 地域医療対策部

## 講習会や学習会

## 市民との対話も充実

年度初めの部会を開き、  
新年度の事業計画などを討  
論しました。

民との大切な対話の機会で  
もあり、充実させていくこ  
とが決まりました。

好評であった「病院マッ  
プ」の改訂版の発行をすす  
めること(八月出版)や、  
「健康なんでも相談」は市

在宅医療についての会員  
アンケートの結果(六月号  
掲載)に基づき、いくつか  
の催しを企画しました。往

診についての勉強会(七月  
中)、新たな病診連携のた  
めに、訪問看護をすすめて  
いるN病院との懇談会、保  
健婦との連携を強めるため  
に訪問指導の実践について  
保健所との懇談会を計画す  
ることになりました。

また、最近の福祉施設の  
実態を知るために福祉施設  
見学会(九月・八田ホーム)  
や医療・福祉制度のわかり  
やすい学習会(八月)を企  
画することになりました。  
(井沢宏夫)

## 学術・保険部

## 協会だからできる 企画を

去る六月二十六日、今年  
度第一回目の学術保険部会  
を開催し、五月の総会で決  
議された活動方針の具体化  
について検討しました。

「協会だからできる」活  
動内容に：と予定の時間  
を大幅に超過した討議の結  
果、次のような行事を内定  
しましたのでご紹介します。

- 一、「これからの開業医シ  
リーズ」では、昨年度末  
から始めた「病診連携に  
役立つ症例検討会」を継  
続し、できるかぎり多く  
の病院に協力をお願いし  
ていく予定です。
- 二、『医療機械実技講習会』  
では引き続き「超音波断  
層法」を肝臓について統  
括します。
- 三、高齢化とともに増加す  
る痴呆老人の研究を地  
域医療部と合同で企画し  
ます。
- 四、保険診療・審査・監査  
に関しては、九月に北陸  
三県下で一斉に審査アン  
ケートを実施し、これを  
基礎として審査委員およ  
び、この方面専門の弁護  
士を迎えての懇談会を企  
画します。
- 五、『従業員講習会』では  
全県下八会場で講演会「  
患者接遇の心得」を開催  
し、昨年好評の「コ・メ

熱心な討論のあと、第二  
回の部会の予定を決めて散  
会しましたが、今年は新た  
に吉光康平先生、前川信政  
先生、相良宝作先生の三人  
を部員として迎えることが  
できました。三先生の今後  
の活躍が期待されます。  
(能登康夫)

**病院マップ改訂版**  
**8月上旬に発刊** 予定  
この度、作成をすすめてき  
た、1987年度版「病院マップ」  
を8月上旬にお届けいたしま  
す。  
(会員無料)

# 第3回北信越ブロック医療研究集会 病院・診療所の連携と 相互の活性化をめざして

## 私の医療活動と今後 石川から一報告

第三回北信越ブロック医療研究集会が、病院・診療所の連携と相互の活性化を求めて、をメインテーマに六月二十八日(日)、福井県芦原研修会館において開かれ、三十余名が出席した。

「私の医療活動と今後」と題して報告した当協会の池本先生は、「守りの医療でなく攻めの医療」を待ちの医療から地域に届けようだ医療をめぐらした活動を紹介します、今後の有床診療のあり方を示唆した。職員に対する研修の義務づけ、職員と患者さんの代表で管理する入院患者のための「あずなる文庫」、職員六人の編集委員による院内紙「松葉杖」の発行など、診療所の



在宅医療に関するアンケート結果を報告する大野先生(右)。

初めでの参加なので極めて個人的印象記と割り切って筆を進めたい。まず、出席のきっかけが個人的であった。ちょうど一週間前の日曜日に東京で開催されたスポーツ整形外科の講習会で大聖寺の池本先生と同席した際に、今回の研究集会で池本式攻めの医院経営を報告することを聞いた。そこで協会に電話して出席の

許可を得た次第である。この点に若干こだわったのはこんなに面白い研修会なのに「常連」以外の参加者が極く数人と推測されたからであった。一般の講習会・研修会・研究会では建前を語る傾向が強く、医療現場では各自の創意と工夫で解決せざるを得ないとの感じを強めてきた数年であり、この点、お互いに本音で語

り合える場があればと探し求めてきた昨今でもあった。さて、研究集会の正確な内容は記事のごとくである。各県から各科の先生が種々の経験と見解を卒直に述べられたのは初めは大変に驚いたが、雰囲気慣れるに従い、逆に好ましく感じられた。

実際に自分の専門領域と言う「城」の中でのみ患者さんと付き合っていると、自分は極めて高度の専門家と感ずる。が、一度、患者さんの「城」の中に飛び込み、その中で医療を実践しようとする、逆に自分の最も不勉強の部分が拡大されてしまい、切ない思いをすることが多々ある。

先日、北信越ブロック地域医療交流集會に参加したが、最も大切なことは、(1)院長自身が地域医療に携わっているのだという自覚と将来の展望を持つこと。(2)職員に院長の考えを理解させ、ともに医療に携わっていることに生きがいを持たせること。(3)地域住民に信頼され、その地域になくてはならない存在になることだと思ふ。

(1)については、地域住民の自院に対するニーズを把握すること。そのニーズにこたえるために、日々、研鑽することが必要であろう。そして、患者が何故に病院

### 本音で語り合える 協会ならではの研修会

松任市 有川 功

地域の医師が認めており、歯科との連携の上に積極的な対応が求められている。

「テレホンサービス原稿の活用について」(富山・摂津先生)では、今までの一〇〇本分をまとめて冊子にし、健康教育などに使用する計画や原稿を、すでに五十人以上の会員が執筆し、

会員参加率を高めるなど、テレホンサービスが地域住民だけでなく、協会の活性化につながっていることが報告された。

最後に特別報告に立った愛知県堀尾安城病院長の堀尾 仁先生は、「地域に信頼される病院をめざして」と題して約一時間にわたって講演、①二十四時間診療、②特徴ある医療、③住民との交流、④他病院・診療所との連携、⑤医療の民主化の五点を診療の基本にして

いることを話された。(地域医療対策部)

### 地域に信頼され なくてはならない存在に

山中町 上田 良成

志向になるのかを反省する必要がある。そのためには

検査設備の充実、診断的的確さ、病診連携により必要な時には早急に入院させられる体制にあること、夜間でも診療できること、患者の病歴と環境を知り尽くしていることが大切である。また、医師自身が医療活動を楽しみだと思ふこと、適当な時間的余裕を持つことが必要である。

(2)に関連するが、時間的余裕を持つためにも職員を信頼できるようにしたい。院内では、現在、医療が抱えている問題や、慢性疾患

では合併症を予防することおのずと信頼されるのではなか。余談を書くが、私は老年を迎えたら、医療以外で、したいことに今から夢をふくらませている。それには健康であることが是非とも必要だ。また老人医療で思うが、老人施設だけでなく、たとえ療養が必要でなく、たとえ趣味と経験を生かして、少しでも老人でも、自分の趣味と社会的に参加でき、それに金銭的価値を持たせて、老人の楽しみを創造できる社会になってほしいと思う。(内科)

### 往診に関する懇談会のご案内

往診は開業医にとって大切な診療行為にもかかわらず、従来より話題にされにくい分野であります。しかし老人保健法の実施にともない、寝たきり老人の定期的な往診や退院患者の継続的な看護に対する評価が、不十分なながらも改善される傾向がみられます。当会が五月に実施した在宅医療に関するアンケート調査でも往診に関する積極的な意見をたくさんいただきました。

懇談会といっても特に講師がいるわけではありませんが、往診についての経験交流、意見交換をしたいと思ひ、企画しました。気軽にご出席ください。

■とき 7月24日(金)

PM 7時半～PM 9時半

■ところ 金沢都ホテル 5階 白糸の間

(金沢駅前 ☎〇七六二一三二二〇二)

■話題 ①在宅医療アンケートの集計報告及び寄せられた意見から

②往診の実際例から

\*お申込みはお電話で協会まで

☎〇七六二一三二一五三七三

# ◆県下8会場の従業員講習会◆

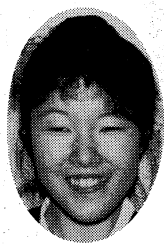
## 「コ・メディカルに必要な患者接遇の心得」

# 高間先生4年ぶりに講演



講師の高間静子先生。  
6月17日 加賀市市民会館

看護の勉強を始めてから三ヶ月がたちました。学校ではいろいろな看護について教えて頂いていますが、患者さんとの接し方については自分が経験しなければ



松任会場

## 接し方の難しさ 改めて痛感

川崎 由紀子

わからないことが多いように思われます。

今回「看護婦さんへのメッセージ」患者接遇の心得の講習会に参加をして改めて患者さんとの接し方の難しさを痛感させられました。患者さんから具合の悪い所をお聞きする時でも、言葉に気をつけ正確に把握しなければいけないと思ひ、気

県下八会場での従業員講習会が今年も始まりました。今年のテーマは「患者接遇の心得」で、講師は金沢大学医療短期大学看護学科助教授の高間静子先生。  
高間先生の多くの実践に基づいた、患者さんとのコミュニケーションの持ち方の話は、参加者に大きな感動と共感を与えるものと思え、すでに開催された会場では、いずれも一〇〇人を超える参加者が熱心にメモをとりながら聞き入っていました。  
尚、六月三十日に予定されていた小松会場は七月十五日に変更になりました。六月中に開催された、加賀、松任の両会場の参加者から感想文が届いていますので紹介いたします。

私は十年來勤めていた保母を都合で辞め、「人とかわり合える職場」を求め、この四月から上田医院に勤務しています。今日、高間



加賀会場

## 接遇を心得、 治療の援助を

石川 邦子

先生のお話を拝聴し感激しましたが、同時に先日非常に心に残った出来事を思い出しました。

それは初めて胃カメラ検査を受けるYさんが私に「大丈夫だろうか」と不安げに語りかけたのです。何と答えようか悩んだのですが、不安感を除いてあげようと思ひ、「大丈夫です。皆さんも一度は経験されています。私も、検査を終ったYさんは「ひどい奴だ、こんなに辛いのに大丈夫とは。」と、言いました。私は「その通りね、ごめんなさい」としか答えられませんでした。それでも帰院時には「ありがとう」と笑顔で去りました。私は先生のお話を聞いた後ならYさんへの接遇も違っていたと反省しています。日常何げなく交わされている会話の心得を図式化して説明して下さり再認識することが出来ました。

Yさんは自分の不安感を聞いてもらい、少しでも気持ちを落ちつかせたかったのに、私は「大丈夫」の一言で黙らせてしまったのです。

思い、「大丈夫です。皆さんも一度は経験されています。」と答えたのです。後日、検査を終ったYさんは「ひどい奴だ、こんなに辛いのに大丈夫とは。」と、言いました。私は「その通りね、ごめんなさい」としか答えられませんでした。それでも帰院時には「ありがとう」と笑顔で去りました。私は先生のお話を聞いた後ならYさんへの接遇も違っていたと反省しています。日常何げなく交わされている会話の心得を図式化して説明して下さり再認識することが出来ました。

持ちが焦ってしまいますが、先生のお話をお聞きしていると心が寛大になったような気がして、リラックスして患者さんと会話ができそうです。  
患者さんと接遇するということとはとても難しいことですが、看護をする上で避

けることのできないとても大事なことなので接遇時のマナーを心得、患者接遇、仕方を身につけ、患者さん信頼され、しかもよりよく保たれるよう、掛けようと思ひました。(松任・有川整形外科勤務)

## 県下8会場での開催計画

回	会場名	開催日	募集人員
①	加賀市市民会館	6月17日(水)	90名
②	松任市民文化会館	6月24日(水)	70名
③	小松市公会堂	7月15日(水)	80名
④	七尾看護専門学校	7月29日(水)	70名
⑤	羽咋市文化会館	7月30日(木)	90名
⑥	輪島市農協会館	8月28日(金)	60名
⑦	能都町社会福社会館	8月29日(土)	70名
⑧	石川県教育会館	9月10日(木)	200名

⑦のみ、午後2時～4時  
その他は、午後7時～9時

医事紛争の解決の方法は、いので司法的判断の対象となる。  
その原因によってさまざまなる。  
もし、医療側が長期の裁判による費用と精神的負担をおそれて金銭賠償を承諾すれば、それは医療の将来に悪影響をおよぼす。  
紛争解決できない場合は、次の三つの手段によることになる。  
すなわち、和解(示談)、調停と裁判である。  
「和解」は原因や、因果関係が明確で、争う余地のない場合で早期解決が望ましい時に当事者間で行う契約である。損害賠償金を支払って今後の争いを絶つことを約束することである。「調停」は和解が困難な

## 医事紛争の 解決の方法

金沢市 大石 博 司 (産婦人科)

場合で、調停委員や時には裁判官も含めて委員会を開いて行われ、当事者双方の申し立てに反しない限度で、公平な意見と、解決に必要な金銭の支払い、物の引渡し、財産上の給付を命ずることが出来る。ただし、この告知から二週間以内に異議申し立てをすることができ、その場合に調停での決定は無効となる。  
調停は裁判と異なって証拠による厳密な事実認定(証人尋問など)は行われないし、調停が成立すれば法的には和解と同じこととなる。医事紛争がそれ以前の段階で解決しえないときは裁判によることとなる。この「訴訟」が、他の事件と異なることは長時間を要すること、専門弁護士に依頼することがほとんど必要なことである。  
裁判所は原告・被告の双方の主張を整理し審理をすすめるが、双方の申し立てのない事項は審理の対象とはならないし職権で調査も行わない。  
第一審である訴訟が終結し判決が言い渡されても、それに不服のときは二週間以内に控訴、上告することができる。  
(以上「医事紛争の焦点」饗庭忠男著(改訂新版)より要約しました。)

このことに限らず毎日の仕事でも事務的で温かみのない対応をしていたのではな

は少しでも患者の苦痛を軽減し、治療の援助をしてあげたい気持ちでいっぱいです。(山中町・上田医院勤務)



秋田 登保健環境課長と保健婦の京平聡美さんにインタビュー。

農漁業と観光の町

能登島町を訪ねて

(能登島町保健環境課長) にインタビュー

わが町の医療福祉を語る

第5回

今月は、能登半島に抱かれるように浮かぶ周囲七十二キロの島、能登島町をご紹介します。インタビューには保健環境課長の秋田登さんと保健婦の京平聡美さんにご協力頂きました。

六十四年度にはゴルフ場も

「今日は忙しい中、時間をとって頂きありがとうございます。実はですね、町村の紹介がシリーズ掲載されてから毎月、保険医新聞を読んでいるんですが、まさかこれとお聞きください」

「能登島について簡単に紹介いただけますか。」「そうですね。見た通りの蝶が羽を拡げたような形をした面積四十七・四九の島です。江戸期には加賀藩に属しており、流刑の島でもあったんです。昭和五十七年に、永年の悲願であった能登島大橋が開通し有史以来の離島と別れを告げたというわけです。人口は昭和二十年代には六、〇〇〇人以上いたんですが、やはり過疎化の波で現在は四、三〇〇人足らずになっています。産業としては農漁業が主ですが、近年観光の占める割合が増大しています。島



能登島町の名物の一つ、「八太郎漬」。能登島大橋を渡ったすぐの右の駐車場売店で。香林坊アトリオ地下でも購入できる。

では今後も住民挙げて観光施設の充実を図り、島特有のユニークな観光地を目指しています。具体的な観光施設についてお教えいただけますか。フ場もオープンする予定です。ご存知の臨海公園と家族旅行村には最近ではた

ハイリスクグループの受診率向上が課題

「それでは町の保健事業についてお話を聞かせ願えますか。」「能登島町の一般検診の受診率は約七十%で県内では高い方です。二十集落あるほとんどの地区を一番暑い八月上旬に一週間程の日程で、高校生、大学生のアルバイトをスタッフに加えて巡回するんです。アルバイトの起用にも実は若いころから健康診査の意識を高めようというねらいがあるんです。それから能登島では早く

から女性には貧血検査、男性には肝機能検査を全員に実施しています。やはり労働が重く漁業従事者も多いので、お酒をたくさん飲む人も多いことなどからこの検査を取り入れたわけですね。この夏の検診は住民検診と呼ばれているもので、結核検診および家庭の主婦を対象にした婦人の貧血検査も含まれます。この検査が終って集計結果に基づき、高血圧教室や糖尿病教室、また、食生活改善栄養教室を開きます。各教室とも今

年は五年目で住民に少しずつ定着しつつあります。今後の課題としてはいかがですか。」「検診率は比較的高い方ですが同じ人ばかりが受けていても仕方がないことで、これからはハイ・リスク・グループの受診のよびかけの強化と要精検者の受診率を高くすることが課題と言えます。」

6年で3人目の保健婦さん

それから、一般検診、癌検診などの受診率の定着が見られる今、検診後の自己管理が一番大切なのでこれもまた力を入れていきたいと思っています。そのためには保健婦のきめ細かな訪問、家庭台帳の整理が重要な課題です。しかし、能登島町には地元出身の保健婦がいないので五十七年から六十年間で三人目の保健婦さんです。住民の健康状態把握出来たところに退職していくので、よりきめ細かな健康づくり事業が出来ないのが悩みです。」「たくさんお話頂きありがとうございます。これがとうございました。これからも住民の健康管理に活躍ください。(保険医協会取材班)

'87 石川県保険医協会

ゴルフ大会のご案内

恒例のゴルフ大会が左記の要領にて開催されます。多数ご参加ください。

〈募集要領〉

●とき 10月4日(日)

AM 8時スタート

(7時30分から受付開始、スタートは到着順)

●ところ 金沢ゴルフクラブ

(金沢市連知町丁一番地) ☎七六二二九一五

●参加費 三、〇〇〇円

(プレー代は各自負担)

●定員 32名 (先着順)

★お申し込み、お問い合わせは協会事務局まで ☎(〇七六二)二二一五三七三

主催 石川県保険医協会

お知らせ

『エキスポランドと梅田花月観劇』(十月十・十一日)の旅行は、定員に達しましたので、切らせていただきます。多数の申し込みありがとうございます。

(機関紙・文化部)

# 医療福祉をさぐる人々

6



老人福祉課の角 道夫さん（上段中央）と5人のスタッフの方々。

## 《入浴サービス》

取材協力  
金沢市老人福祉課

今月は金沢市老人福祉課が行っている「入浴サービス」に携わる方々をご紹介します。  
取材にご協力頂いたのは、金沢市老人福祉課の角道夫さんと実業務に携わる運転手、看護婦、介助員の方々です。

### 寝たきりの入浴希望 だんだん増える

自宅でお風呂に入るのが困難なお年寄りのためにと、はじめられたこの制度、利用者がだんだん増えている。対象になるのは金沢市内在住の六十五歳以上の寝たきりの方々である。

利用の仕方は、家族が医師の意見書を添付した申請書に身体状況や介護の状況、居室の状況などを記入すればよい。

申請書が出された段階で住居の下見が行われる。この「入浴サービス」には入浴車で行く。



「おい、あんまりこちょがすな…」と、いいながらも気持ち良さそう。(二口町Nさん宅)

### 同行取材リポート

## 完璧なチームワーク 「なれ」は禁物

六月二十三日（火）快晴。約束の午前九時二十分、市役所前に到着。数分後に入浴車が姿を現わした。入浴車は二台。つづいて看護婦、介助員が次々に集合。老人福祉課の角氏がその日の巡回計画書を持って現われる。二台の入浴車のコースの確認と人員の配属が決まる。

取材班は二十四時間チャリティーテレビから寄付されたという入浴車の後についていくことになる。



浴槽からシャンプー、リンスまでぎっしりと積み込まれている。

この車には運転手一名、看護婦一名、介助員二名が乗り込むことになった。九時三十分、車はゆっくりと市役所を出る。極めて安全運転である。九時五十分、二口町のNさん宅に到着。看護婦がまず家の中に入り、お年寄りの健康チェックを行う。体調が悪い場合は、やむなく入浴を中止しなければならないからだ。また、この健康チェックの際、忘れて

はならないのはお年寄りとのコミュニケーションである。時として体調が特に悪くない場合でも、これを事務的に行ったのではお年寄りが恐怖におびえたり、入浴が円滑に行われなかったりする場合が多々あるからだ。

入浴サービスのお問合せは、金沢市老人福祉課 角道夫さんまで。TEL (0762) 20・2288番

つづいて介助員二名は浴槽を部屋まで運ぶ。もちろん部屋が濡れないよう、ビニールシートが下に敷かれる。家の構造上、浴槽を搬入する際、ドアが狭すぎたり、玄関に物が置いてあったり、困難を極める場合も少なくないという。しかし、Nさん宅は入口も広くきれいに片づけられ、何の問題もなく浴槽が持ち込まれる。冬だと同じボイラーでも給湯までの時間は長くなることである。この日は給湯までの所要時間二十五分であった。

浴槽は実に合理的に出来ている。浴槽の中にすっぽりとはいるネットにまずお年寄りが寝かされるのであるが、このネットはハンドルのよって上下させることが出来る。したがって身体を洗うときにはお湯から上にあがり、お湯に浸かるときはネットごとお年寄りをハンドルによって入浴させる

という具合である。身体を洗うときは家族の方を含めて、外で待つ運転手以外全員で行われる。家族の方もなれていられるらしく、手際が良い。お年寄りの身体を丁寧に拭いてベッドにもどされるまで二十分弱であった。看護婦はお年寄りの床ずれなどの手当てをし、介助員は浴槽をきれいに洗った後、車まで帰る。

全部終わったのが丁度一時間。実に見事な仕事ぶりであった。完璧なまでのチームワークは一つの芸術というところだろうか。「なれが一番怖い。入浴サービスという仕事は決して事務的に行ってはならない」という言葉が今でも印象に残っている。  
(保険医協会取材班)

### 第3回デンタルスタッフ講習会

#### ご案内

- ◆とき 9月20日(日) 午前10時～午後0時半
- ◆ところ 石川県教育会館 2F 大会議室  
……………香林坊アトリオ裏  
(金沢市香林坊1-1-40 ☎0762-22-1241)
- ◆テーマ 日常のマナーと患者接遇の心得
- ◆講師 JAL接遇講座インストラクター
- ◆参加対象 歯科医院のスタッフ  
(受付事務、歯科衛生士、歯科助手など)
- ◆参加費 500円
- ◆主催 石川県保険医協会歯科部会  
☎0762-22-5373番

# おねほし

30

## 政岡尚實

### 先生の巻

政岡医院 院長  
河北郡医師会 会長

河北郡内灘町字鶴ヶ岡4-1-265

## 患者の側に立つとは 視野を広くすること

—まず、この内灘町鶴ヶ岡地帯で開業された動機からお尋ねします。

私は旧金沢医科大学の最後の卒業生で放射線科教室に入り、平松 博教授に師事、太田病理で学位の勉強をした後、十五年前に現在地で開業しました。この地を選んだのは全くの偶然で、当時、県営鶴ヶ岡地帯の中に医院とスーパーマーケット、公衆浴場が新聞で一般公募し、それに申し込んで私が当たったからです。



文武両道の「文」にも親しもうと、暗中模索中  
です。と政岡先生。

うです。「お前のような色の黒い奴は、医者に向かない」といわれたものですが、意外と人には二面性がある

また、診療の際には、患者の側に立つて考えるようにしています。勤務医時代は病氣第一主義でしたが、開業してからは多角的に患者サイドからもながめて、診療・治療に当たるのが最

良の医療かなと思っていま  
す。  
患者の側に立つというこ  
とは、視野を広くすること  
としてバランスよく見るこ  
とであると常々思っています。  
それは、医師は苦勞は  
してきているが、世間の苦  
勞とは異質の苦勞のため、  
世間知らずになりやすいと  
思うからです。

—先生は昨年四月から河  
北郡医師会を務めておら  
れますが、その方面でのご  
苦勞があればお聞かせ下さ  
い。  
河北郡医師会はA会員四  
十一人、B会員二十一人、  
計六十二人います。河北郡  
の特徴は金沢医科大学があ  
ることと金沢市に隣接して  
おり、密接に交流があるこ  
とです。  
この激動する医療界にお  
いて、地域医療計画、老人  
病院等々、いろいろな問題

—先生にはストレス解消  
法は聞かなくてもよいよう  
ですが。(笑い)  
私はスポーツ大好き人間  
です。若い頃は剣道、バス  
ケット、バレー、テニス、  
水泳、登山と何にでも熱中  
していました。いまはゴル  
フ一筋です。とにかくゴル  
フ好きで健康のために続け  
ています。現在、ハンディ  
11で、年齢からみればマ  
マアと自負しています。さ  
らに「極意」を極めようと

## カラオケが好き でも誰も聞いて くれない

—先生は入会しておらず大変  
申し訳なく思っています。  
協会の日医の手の届かない  
キメ細かい活動には高く評  
価し、敬意を表します。  
どうも有り難うございま  
した。皆様によりしくお伝  
え下さい。

—先生は入会しておらず大変  
申し訳なく思っています。  
協会の日医の手の届かない  
キメ細かい活動には高く評  
価し、敬意を表します。  
どうも有り難うございま  
した。皆様によりしくお伝  
え下さい。

—先生は入会しておらず大変  
申し訳なく思っています。  
協会の日医の手の届かない  
キメ細かい活動には高く評  
価し、敬意を表します。  
どうも有り難うございま  
した。皆様によりしくお伝  
え下さい。

## 読者 投稿

## 「交流分析」のすすめ 不気嫌にならないために

(金沢市 産婦人科)

周囲を支配しようとして  
るのである。この「支配す  
る」とは、赤ん坊が泣いて  
母親を支配したり、子供が  
欲しい物が得られないとき  
に暴れたりするのと同じ心  
理である。  
従って、もし自分が不機  
嫌に襲われたなら、自分の  
心理を観察し、CからAへ  
と変換するように努力する  
ことが望ましい。  
かつて、ある人が、北陸  
三県メデイカルゴルフのス  
タートで、三連続OBをし  
たときに、恥しきでうつむ  
いていた顔を上げると、周  
囲の人たちが笑いをこらえ  
ているのが目に入った。そ  
の時、「OBすることは皆  
が愉快になることだ。すな  
わちOBは懇親の一手段で  
ある」と悟った。それから  
その人は、グロス88でベ  
ストグロスを得たことであ  
る。  
これは今から思えば、C  
からAへの変換の例である  
と思う。  
また、不機嫌が幼児心理  
と思われるとしたら、これ  
からは恥しくて不機嫌な顔  
もできないと思うのである。

## 〔訂正とお詫び〕

本紙六月号(第一五六号)に次のあ  
やまりがありました。訂正し、お詫び  
致します。  
(六頁) 左上写真説明 上田正司(誤)  
↓上出正司(正)  
(七頁) 本文下から2段目右から4行目  
0・01(誤) ↓ 0・1(正)